

「地域と共に歩む医療・ケア～健体康心をめざして～」をテーマに開催し、参加者は約80名でした。

特別講演として、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構理事長 栗谷義樹先生に「山形県北庄内における医療提供体制と課題～地域医療連携推進法人設立に向けて～」、社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院認知症疾患医療センター長 細井尚人先生に「認知症における病院の役割について」をそれぞれご講演頂きました。

その他、テーマに沿った一般演題7題とポスター発表2題の演題が寄せられ、各病院の取り組みをご発表頂きました。

最後に、本学術集会開催にあたりご協力頂きました皆様に御礼申し上げます。

第19回大分県支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人地域医療機能推進機構

湯布院病院院長 根橋良雄



会場風景

第19回大分県支部学術集会は、2019年2月23日(土)にJCHO湯布院病院を会場として開催し、近隣の医療関係者から多数

の演題をいただき盛会に終了することができました。学術集会テーマ「幸せに暮せる町～地域医療・災害医療を中心にして～」に沿って、特別講演「地域包括ケアと災害リハビリテーション(講師：長崎リハビリテーション病院理事長/JRAT代表 栗原正紀先生)」、シンポジウム「災害に強い町づくりを目指して(シンポジスト5名)」からご講演ご意見をいただきました。また、一般演題27題をV群に分け、「医療安全・倫理」、「経営参画・業務改善」、「地域医療・災害医療・チーム医療」、「看護ケア・教育」、「在宅支援」別にご発表いただき、それぞれの座長からベスト口演賞も授与していただきました。結果として、参加者は100名を超え「湯布院」の地で盛会に終わることができました。ご協力をいただきました皆様方に心より御礼申し上げます。

第18回香川支部学術集会

学術集会会長：高松市立みんなの病院院長 和田大助

2019年3月2日(土)高松市立みんなの病院1階みんなのホールにおいて、第18回日本医療マネジメント学会香川支部学術集会を開催いたしました。

平成最後の会の開催に当たり、これまでの歩みを振り返ってみると、病院の生命線である医療安全は、議論が尽くされ、多くの改善や対策が講じられてきたものの、問題点や課題が一向に減らないばかりか、新たに思いがけない事象が発生しています。そこでもう一度改めて、見過ごされていたり、何か気付くことはないかという思いで、メインテーマを「医療安全のSerendipity」といたしました。

一般演題では「医療安全A・B」、「感染管理」、「人材育成・業務改善」、「チーム医療」、「業務改善」、「地域医療連携」の7セッションで合計28題の発表が行われました。また、特別講演では徳島大学病院リハビリテーション部教授、同院副院長・安全管理部部長の加藤真介先生から「医療安全と連携」という演題でご講演いただきました。

当日はお忙しい中、県内外の医療機関等から134名のご参加をいただき、大盛況のうちに終了いたしました。ご協力をいただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

第18回福岡支部学術集会

学術集会会長：地方独立行政法人大牟田市立病院副院長 末吉晋

2019年3月9日(土)に、大牟田文化会館で第18回福岡支部学術集会を開催致しました。「次代へ歩むチーム医療～多職種協働のあり方～」をテーマに掲げ、168名のご参加をいただきました。

特別講演の前には、昨年ゆるキャラグランプリで準優勝に選ばれた「ジャー坊」も登場し大牟田市のアピールも行ってもらい、会場が和やかな雰囲気になりました。特別講演では、大牟田市立病院産婦人科医長の河野亮介医師から「子宮頸がんについての最近の話題」を、女優で、婦人科がん患者会「よつばの会」代表の原千晶さんに「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～」をご講演いただきました。また、シンポジウムでは、「チームで取り組む医療現場の実際」とし、認定看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、事務職のシンポジストにそれぞれの立場でご講演いただき、ディスカッションを行いました。さらに、一般演題は49演題の発表が行われ、活発な意見交換がなされました。

最後に、多くの方々のご協力により、盛会裡に終了しましたことを心から感謝申し上げます。

第9回新潟県支部学術集会

学術集会会長：新潟県済生会三条病院院長 郷 秀人

2019年3月16日(土)に燕三条地場産業振興センターを会場として、第9回新潟県支部学術集会を開催いたしました。